

みんなで一人を

マルコによる福音書二章一〜12節

四人の男が体の麻痺した人を担いで、イエスのところへ運んで来た。(3)

体の麻痺した人がイエスによって癒される物語です。この病人を運んできたのは四人でしたが、その背後にはこの人のことを心配して四人に運ばせた人々がいました。彼の家族をはじめ、友人や近所の人々がみんなでこの一人の病人を主のもとに連れてきたのです。主イエスはこの病人の癒しを心から願うこれらの人々の信仰に目をとめられました。ここに教会が目指すべき一つの姿があります。私たちが家族や友人をキリストのもとへお連れしようとするとき、教会という背後にある人々の祈りに支えられて一人の方を主のもとへお連れするのです。「みんなで一人を」という姿勢こそ、教会のあるべき姿です。イエスが注目されるのは、個人の信仰だけでなく教会共同体の信仰です。私たちの教会は、一人の救いのためにみんなで心を合わせて祈っていく教会でありたいと心から願います。